

1.国名の由来 地域の住民の名称、トルコ人に由来する。トルコ人の祖先は中央アジアに住んでいたチュルク人で、チュルクは「力強い人、軍団」を意味する。文明の十字路として重要視されたこの地には、紀元前18世紀のヒッタイト帝国をはじめ、多くの民族国家が盛衰した。中央アジアの遊牧民族トルコ人がこの地にやってきたのは12世紀頃で、13世紀末にオスマン・トルコを建国した。

2.面積 約78.1万平方キロメートル（日本の約2倍）

3.人口 約8200.4万人（2018年 トルコ国家統計庁）

トルコの国旗の由来は、「三日月旗」あるいは「新月旗」と呼ばれ、1844年から使われている。赤はオスマン朝が好んで使用した色。三日月と星の紋章は、オスマン・トルコ帝国の皇帝が戦線を訪れた時、三日月と星が輝いたという故事に由来し、進歩・国民の一致・独立を表す。